

登録日 2011/9/29

登録番号 BRE013

腫瘍名 乳がん

申請診療科 乳腺外科

投与スケジュール

HAL			21日毎×PD				
			1コース		2コース	(day)	
			1	8	22	...	
①	デキササート	6.6 mg	点滴	15分	↓	↓	↓
	生理食塩水	50 mL					
②	ハラヴェン	1.4 mg/m ²	点滴	5分	↓	↓	↓
	生理食塩水	50 mL					
③	生理食塩水	50 mL	点滴	5分	↓	↓	↓
	フラッシュ						

注意事項

【適応】アントラサイクリン系、タキサン系薬剤による前治療がある手術不能または再発乳がん

【減量、中止基準】

- ・各投与日の基準: 好中球数: $\geq 1000/\text{mm}^3$ 、血小板: $\geq 75000/\text{mm}^3$ 、非血液毒性: $\leq \text{Grade}2$
- ・上記の基準を満たさない場合、Day1は延期。
Day8で上記を満たさない場合は延期した上で、①または②の条件に従って対応。
①1週間以内に回復 ⇒ Day15に減量して投与(次コースは2週間以上間隔を空ける)
②1週間以内に未回復 ⇒ 次コースまで休薬

【2サイクル目以降の減量基準】(目安の用量: $1.4\text{mg}/\text{m}^2 \Rightarrow 1.1\text{mg}/\text{m}^2 \Rightarrow 0.7\text{mg}/\text{m}^2 \Rightarrow$ 投与中止)

前サイクルで下記の副作用などが発現した場合、減量した上で投与。

- ・7日を超えて継続する好中球減少 ($< 500/\text{mm}^3$)
- ・発熱または感染を伴う好中球減少 ($< 1000/\text{mm}^3$)
- ・血小板数減少 ($< 25000/\text{mm}^3$)
- ・輸血を要する血小板数減少 ($< 50000/\text{mm}^3$)
- ・Grade3以上の非血液毒性
- ・副作用などにより2週目に休薬

【別途、減量基準】

・乳がんにおける使用では、肝障害(AST・ALT>施設基準上限値の5倍、総ビリルビン>施設基準値の3倍)、Grade3以上の末梢神経障害時(DINETから乳がん適正使用情報を参照)

【その他】

- ・QT間隔延長が報告されており、投与前に心電図を行うこと。
- ・無水エタノールを含有するため、アルコール過敏な方への投与に注意を要する(禁忌ではない)。
- ・用量規制因子(DLT): 好中球減少、発熱性好中球減少症
- ・安定性: 調整後 ・室温: 6時間以内 ・冷蔵: 24時間以内は安定
- ・5%ブドウ糖注射液で希釈しない(反応生成物が認められたため)

参考文献

- 1) ハラヴェン添付文書
- 2) ハラヴェン総合製品情報概要
- 3) Lancet, 377, 914-923(2011).
- 4) J. Clin. Oncol, 33, 594-601 (2015).